

## 長期海外プログラム 2021年度 国連ユースボランティア (UNYV) 募集要項

UNV（国連ボランティア計画）は1971年に創立され、UNDP（国連開発計画）の下で運営されています。ユースボランティアの派遣により、①若者のボランティア活動に関する地球規模での啓発活動とパートナーシップ、②政策提言を含む政府・地域レベルの若者のボランティア・プログラムの創設・運営・管理のための能力強化支援、③「国連ユースボランティア」のモダリティの創設を目指しています。

2013年度より2カ年に渡り、外務省の資金援助のもと国連ユースボランティア（UNYV）パイロット派遣のスキームが発足し、基幹校・関西学院大学のほか、現在では上智大学、明治大学、明治学院大学、立教大学、東洋大学、大阪大学、国際教養大学、筑波大学の9大学が加盟するコンソーシアムとなりました。

※本プログラムは東洋大学主催のプログラムではありません。学内選考通過後の主催機関とのやり取りや航空券手配、書類提出・ビザ申請等は参加者本人に行っていただきます。国際教育センターでは代行しません。

※2020年度は新型コロナウイルスの影響で実施中止となりました。

### <プログラム概要>

#### 1. 活動内容

主に開発途上国における国連事務所や政府機関、NGOなどに派遣され、「業務指示書(Description of Assignment)」に基づき各機関のスタッフや現地の人々とともに活動に従事します。ウェブサイト作成などの広報活動、プロジェクト運営の支援などを通して、教育、環境、保健衛生などの分野の活動に携わります。派遣先により活動の内容は異なります。

#### 2. 派遣期間

約5ヶ月間（9月下旬～2月下旬頃）を予定。

#### 3. 派遣先

2021年度東洋大学派遣先（1枠）は3月下旬に確定予定です。その際に、派遣地及び派遣先機関が記載されたDOAがUNVより提示されます。

#### <参考：過去5年間の募集実績国>

年度	派遣先国
2015年度	バングラデシュ、カンボジア、エチオピア、フィジー、ガーナ、インド、ラオス、モンゴル、モザンビーク、フィリピン、ルワンダ、サモア、スリランカ、タンザニア、東ティモール、ウガンダ、ザンビア
2016年度	モンゴル、カンボジア、ルワンダ、スリランカ、◇ウガンダ、ラオス、エチオピア、東ティモール、タンザニア、モザンビーク、ミャンマー、ジンバブエ、サモア、ザンビア、バルバドス、インドネシア、タイ
2017年度	フィジー、インドネシア、ベトナム、スリランカ、バルバドス、カンボジア、東ティモール、タイ、モザンビーク、ジンバブエ、ミャンマー、フィリピン、トリニダード・トバゴ、ラオス、サモア、エジプト、マラウイ
2018年度	ヨルダン、モザンビーク、セネガル、インドネシア、マラウイ、◇タイ、ジンバブエ、ザンビア
2019年度	ヨルダン、マラウイ、ジンバブエ、アルバニア、アゼルバイジャン、カザフスタン、ザンビア、バルバドス、◇ラオス、エジプト、ウクライナ、ボスニア・ヘルツェゴビナ
2020年度	ウズベキスタン、インドネシア、ベトナム、フィリピン、ルワンダ、ウクライナ、スリランカ、ラオス

◇：本学派遣実績

#### 4. 参加資格要件

- ① 本学の学部生で、2021年9月1日時点で20歳以上であること。大学院生は不可。
- ② 日本国籍を有すること。
- ③ 学業成績が良好であること。
- ④ 英語でのコミュニケーションが問題なく行えること（目安：TOEIC700以上）。
- ⑤ 最低限のPCスキル（Word/Excel/PowerPoint）を有すること。
- ⑥ ボランティア活動の実績があること。
- ⑦ 派遣先国でどのような生活環境下でも、また困難な状況にも対応でき、心身共に健康であること。

#### 5. 費用

本プログラムは日本政府の支援を受け、渡航費、現地生活費、現地住居費などが国連ボランティア計画から支給されます（上限あり）。ただし変更となる場合があります。

※受講必須の事前研修に関する費用（プログラム費・交通費・宿泊費）、健康診断、予防接種、ビザ取得、海外旅行保険などは自己負担となります。

※プログラム参加中の学籍は「在学」となりますので、本学の学費納入が必要です。

#### 6. 滞在先

国連管理の下、寮、アパート、またはホームステイとなります。

#### 7. 奨学金

○海外留学促進奨学金「アクティブ型」対象

規定の語学試験のスコアに応じて、25～50万円の奨学金が給付されます（予定）。

同奨学金の2021年度募集要項は4月上旬に公開予定ですので、国際教育センターHPで確認の上、別途出願してください。

<https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/scholarship/international-scholarships/>

### <出願方法・期間>

項目	手続内容
①プレエントリー	今年度は学内プレエントリーを行いません。 各自、③学内本エントリーに向けて準備を進めてください。
②業務指示書（DOA） 公開	UNVよりDOAが開示されましたら、以下の方法でお知らせします。 <b>時期：2021年3月22日（月）</b> 開示方法：Toyonet-ACEにて通知 ※プレエントリー学生にお知らせします。
③学内本エントリー	<b>◆学内本エントリー期間：</b> <b>2021年3月29日（月）10：00～4月16日（金）17：00</b> <b>◆本エントリー方法：</b> 上記期間中に、以下の書類を国際教育センターに提出。 ①参加申込書 ②健康状態確認書 ③語学試験スコア証明書のコピー ④パスポート顔写真ページのコピー ⑤Resume（英文）※英文履歴書 ⑥Additional Statement（英文） 下記国際教育センターHPより書式をダウンロードしてください。 <a href="https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/ies/internship/#2">https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/international-exchange/ies/internship/#2</a>

項目	手続内容
④学内選考	上記出願書類をもとに国際教育センターにて書類選考を実施
⑤学内選考結果受領	<b>4月23日（金）メールにて学内選考結果通知（予定）</b> 東洋大学個人メールアドレス（@toyo.jp）に配信します。
⑥UNYV 本エントリー （東洋大学→基幹校）	4月26日（月）出願者情報を報告
⑦予備審査	5月10日（月）～24日（月）現地事務所による電話インタビューなど
⑧UNYV 本エントリー （出願者→UNV）	◆UNYV 本エントリー <b>Roster 登録（オンライン出願登録）</b> （4月下旬～5月6日（木）まで） ※電話面接が実施される場合があります。
⑨選考結果通知	UNV より各大学もしくは出願者に結果通知（6月16日（水）通知予定）。

※選考通過者は国内にて事前研修が行われます（2019年度は8月に8日間実施）。国連概論、ICT（Web、画像、動画編集）、英文議事録・レポートの書き方、教育開発論、国際紛争論、災害復興論等の講義、安全対策等を学びます。

### <出願にあたっての注意事項>

- ・ 予め保証人の方の了承を得た上で出願するようにしてください。
- ・ 単位認定は各学部/学科により異なります。各学部教務課窓口にご確認ください。
- ・ 学内選考に加えて、UNVの選考を通過した者が派遣候補者として内定となります。
- ・ プレエントリー後、自己都合による辞退は原則として認められません。
- ・ 本プログラムは本学主催のプログラムではありません。日程をはじめ、詳細は今後適宜変更される場合があります。
- ・ 参加にあたっては、本学指定の海外旅行保険（付帯海学・J-TAS 海外危機管理サービス）への加入が必須となります（費用は自己負担）。
- ・ 学内本エントリー期間中に、留学等の理由で国内を離れる場合は事前にご相談ください。
- ・ **外務省の海外安全情報を参照し、「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」となった場合やUNのセキュリティレベルが上がった場合は、関係機関と協議の上、派遣を中止する場合があります。**
- ・ **渡航でのプログラムが中止となった場合には、オンラインでの参加となります。**

### 【お問い合わせ先】

東洋大学国際教育センター（白山キャンパス8号館1階） 担当：山本・魏  
 開室時間 平日 10：00～18：00 土曜 10：00～13：00  
 E-mail ml-internship@toyo.jp TEL 03-3945-7559